

人が動く、国土が躍動する。
国土交通省

みなと しみず

発行

中部地方整備局
清水港湾事務所
清水港事務所
御前崎港事務所
下田港事務所

「清水港新興津コンテナターミナル」が供用開始



清水港新興津地区において整備を進めて来た国際海上コンテナターミナルが完成し、6月24日に現地において中部地方整備局、静岡県、静岡市が共催で「清水港新興津コンテナターミナル供用開始式典」を開催しました。

本ターミナルは、清水港におけるコンテナ貨物量の増大と、近年の船舶の大型化に対応するため、水深15mの岸壁2バース700m、埠頭用地など43.8haが計画され、今般その一部として、3大湾以外では初めての水深15m岸壁1バース350mと全国6番目のスーパーガントリークレーン3基を備えたコンテナターミナルなどが完成し、供用を開始したものです。

式典では、柳澤伯夫衆議院議員、草刈隆郎日本郵船(株)社長を始め、国、県、市、船社、荷主、地域関係者など、352名の皆様のご出席をいただき、国土交通大臣挨拶(村田進大臣官房技術参事官(現中部地方整備局長)代読)、来賓祝辞、テープカットと続き、式典終了後には地元港湾関連企業などの実行委員会による祝賀会が清水マリビルにて催され、地元の伝統文化である「清水芸者踊り」も堪能しながら、今後のポートセールスも含めた交流が行われました。



下田「海の日」海辺の自然学校を開催



7月19日(土)～21日(月:海の日)に下田市田牛(とうじ)地区において下田・静岡市内在住の小学校5・6年生を対象に、下田市から24名、静岡市から18名の合計42名の参加者によって開催しました。

“海辺の自然学校”は、子どもたちが海辺の地理的な多様性や生物・動植物の豊かさを自ら発見し、具体的な知識を体得し、自然や環境を理解してもらえるように、国土交通省港湾局が昨年度から始めたものです。

今回は、下田市・静岡市の協力のもと、参加者を一般公募し、講師に海洋生物学者ジャック・モイヤー博士を招いて実施しました。

19日は、青少年海の家で開校式を行い、その後、スノーケリングによる自然体験を行いました。

夜は、モイヤー博士の「海辺の環境について」



と渡辺田牛区長の「田牛の話」の2つの講義に熱心に聞き入り、生徒さんからは質問が盛んに繰り返されました。



20日は、スノーケリングによる魚類の行動観察、午後からは魚類以外の生物観察を行いました。

夜は、昼間観察した魚の名前を班ごとに発表する授業が行われ、生徒さんは1日中泳いでいた疲れも見せず、予想以上の43種類もの魚の名前を確認することができました。



21日は、海後ノ浜の傾斜30度、滑走距離45mの砂のグレンデをソリで滑る“サンドスキー”を行い、午後は、湿らせた葉書に海藻を貼り付けて乾燥させる“海藻おしば”の作成を行いました。

閉校式ではモイヤー博士から個々に修了証が手渡され、「友達がたくさんできた」

「大変楽しい体験だった」など一人一人が感想を発表しました。

下田からの参加者は保護者の方に迎えに来てもらい、静岡からの参加者は行きと同じTSL(テクノスーパーライナー)で関係者との別れを惜しみつつ帰路につきました。



市民ふれあいイベント



7月13日に静岡市青葉イベント広場で、市民の皆さんに建設行政や建設業の理解を深めてもらい、まちづくりに対する意識を高めることを目的として“市民ふれあいイベント”が静岡建設協会青年部主催で開催されました。

当事務所も昨年に引き続きブースを出展し、港の役割を紹介するパネルやビデオの放映、また港に関する〇×クイズを行い、来場者の方に参加していただきました。

国土交通Day & 海の日記念式典

「国土交通Day」並びに「海の日」における表彰等が行われ、当事務所の関係では以下のみなさんが受賞されました。おめでとうございます。

「国土交通Day」 7月16日(名古屋通信会館)

◆建設事業関係功労者等

部門	区分	被表彰者
優良工事	局長表彰	五洋・佐伯・みらい特定建設工事共同企業体
〃	〃	駿河建設工事共同企業体
優良工事技術者	〃	蔵本正俊(五洋建設㈱)
安全工事	〃	駿河湾建設工事共同企業体

◆永年勤続職員

部門	区分	被表彰者
30年勤続	大臣表彰	栗谷幸一 経理課長
〃	〃	溝口 誠 計画課長

「海の日」記念式典 7月22日(清水マリンビル)

◆港湾建設功労者

部門	区分	被表彰者
港湾建設功労	局長表彰	㈱富士ロジテック
〃	所長感謝状	(有)平野潜水工業所
〃	〃	(有)若寿潜水工業
〃	〃	(有)花崎海洋土木
〃	〃	三楽工業
〃	〃	(有)岩本工業
〃	〃	㈱カネジュウ橋本土建

「海の日」記念式典・表彰式の様子



〈局長表彰と所長感謝状を受賞された皆さん〉

御前崎港・クリーンアップ大作戦



7月19日に御前崎港管理事務所主催の“みなとクリーンアップ大作戦”が御前崎港の西埠頭を中心に行われ、地元住民、漁協及び港湾関係者等、約150人が参加しました。

集められたゴミは不法投棄されたタイヤや扇風機、ペットボトル、空き缶などで合わせて2トントラック4台分にもなりました。

清水マリーンフェスティバル・羽衣レガッタ

今年から「海の日」が祝日法の改正により7月の第3月曜日になり、3連休の中日となった7月20日に“第19回マリーンフェスティバル羽衣レガッタ(ペーロン競漕)”が清水港日の出地区で開催されました。

静岡市となって初めての今大会には39チームがエントリーし、当事務所もチーム名「ベェズ」として初参加しました。

レガッタは、1艇に漕ぎ手22名、銅鑼、太鼓、舵取りが各1名の計25名で800m(400m折り返し)を漕ぎ、タイムで競いあいます。レースは予選、敗者復活、準決勝、決勝と行いますが、残念ながら当チームは決勝に残ることはできませんでした。しかし、初参加としては大健闘の中間位のタイムを収めることができました。



第56回清水みなと祭り・港かつぼれ



新静岡市誕生後、初めての“清水みなと祭り”は8月1日～3日に行われ、清水港周辺の各地区で様々なイベントが開催されました。

祭りの中で一番の盛り上がりを見せる“港かつぼれ”総踊りは2日間にかけて行われ、1日目は93チーム、2日目は246チームが参加し、会場であるさつき通りを所狭しと踊り歩きました。6曲もある曲目を次から次へと踊る市民の皆さんの熱気の中、当事務所もイメージキャラクター「ベェズ」の法被を着て総踊りに参加しました。



マダイ体験放流



8月2日に御前崎町主催の“マダイ体験放流”が御前崎港で行われ、地元の御前崎小学校、白羽小学校5年生の手で2千尾のマダイが放流されました。

子供たちは御前崎海上保安署の巡視船「あしたか」と御前崎港事務所の監督測量船「ふじ」に分乗し、放流場所でバケツに入れたマダイの稚魚を次々と放流しました。



御前崎港ふれあい映画会

マリパーク御前崎で4回目となる“御前崎港ふれあい映画会”が8月2日に開催され、昨年より多い約800人の入場者でにぎわいました。

この映画会は、港湾工事のイメージアップのために行っていますが、昨年までは西埠頭で製作中のケーソンの壁面を利用して上映していましたが、今年はケーソンの製作がないため、8月2日～3日に開催された“海と風のフェスティバル&みなとまつり”の会場内で行われました。

上映前に配布したアンケート結果には、「毎年楽しみにしている」「来年も開催してほしい」といった意見を多数いただきました。



日本初のウェイクボードパークがオープン！！



8月8日に日本初の“ウェイクボードパーク”がマリパーク御前崎にオープンしました。“ウェイクボードパーク”は世界100ヵ所以上に展開しているケーブルパークシステムを使ったウォータースポーツのアミューズメントパークで、ボートを使わずに誰でもウェイクボードが楽しめる施設です。



料金は季節によって多少異なりますが、夏期は1日4500円のほか午前券や午後券もあり、ボード・ライフジャケット・ヘルメットは無料で貸出ししているので、手軽に体験ができます。一度行ってみたいはいかがでしょうか？



全国共通フリーダイヤル

海とみなとの相談窓口

おおいに よくなる みなと

0120-497-370

〈受付時間〉

9時～12時

13時～17時

※土・日、祝祭日除く



- ・海やみなとの利用
 - ・総合的な学習の時間
 - ・みなとの防災
 - ・海洋土木技術
- など、何でもお問合せ下さい